田川市立病院 NEWS LETTER

ニュースレター VOL.51

2025年 秋号

特集 「歩く」「動く」喜びを

◆ 基本理念 ◆

地域（患者・かかりつけ医・住民・職員）の求めに応え、安全・安心な医療を支えます

「歩く」「動く」喜びを支えるチームがここにある

整形外科では、慢性的な関節の痛みから突然の骨折まで、あらゆる整形外科疾患に対応しています。

整形外科特集

「歩く」「動く」喜びを

日常の動作に痛みが生じることはQOL（生活の質や幸福度）を大きく下げ、健康寿命の低下にもつながります。今回は「立つ」「動く」動作に焦点を当て、代表的な関節疾患である「変形性関節症」とその先に起こりうる移動能力の低下「ロコモティブシンドローム」について紹介します。

変形性関節症って何？

歩くのに重要な役割を果たしている股関節と膝関節。その健康を脅かすのが「変形性関節症」です。

加齢・肥満・筋力低下・けがなど、さまざまな原因により関節表面の軟骨がすり減り、関節の膜（関節包）を裏打ちしている滑膜に炎症が起こります。この状態が数年から数十年続くと関節の変形を生じます。症状として、水がたまったり腫れたりして痛みを生じます。また、関節の変形により関節の動きが限られ、歩行や日常生活に困難を感じるようになります。最終的には、家の中に閉じこもりがちになり、認知症や抑うつ状態などの原因になります。

患者数はどれくらい？

変形性関節症は全ての関節に起こり得る病気で、膝関節が最も多く、続いて多いのが股関節と言われています。変形性関節症の患者数は全世界で5億2千800万人にのぼります。

日本では変形性膝関節症の患者数は3千万から4千万人と推定されており、毎年17万人以上の患者さんが人工関節置換術（膝と股関節）を受けています。この数は、田川市の人口の4倍に近い数で、それだけ多くの人が変形性関節症となり、日常の動作に困難を抱えていることになります。

手術前

手術後

どのような治療があるの？

変形性関節症の予防として、筋力訓練やストレッチが大切です。特に、下肢の変形性関節症では荷重が軟骨に負担がかかるため、過度のウエイトトレーニングは避けてください。水泳や水中ウォーキングなど、浮力がかかった状態でのトレーニングがおすすめです。

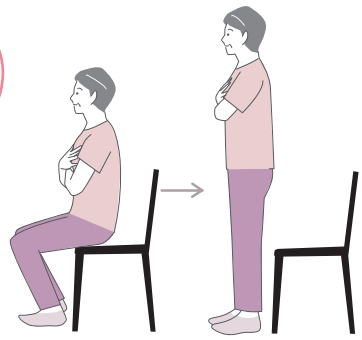
もし、すでに変形性関節症を患っている場合は、進行度合いにもよりますが、人工関節置換術をおすすめする場合があります。

当院では特に、股関節の人工関節を、筋肉を切らない低侵襲手術で行うことができます。

股関節の痛みで困っている、人工関節の手術を検討している人は、気軽に相談してください。

移動機能をテストしてみよう

両足テスト



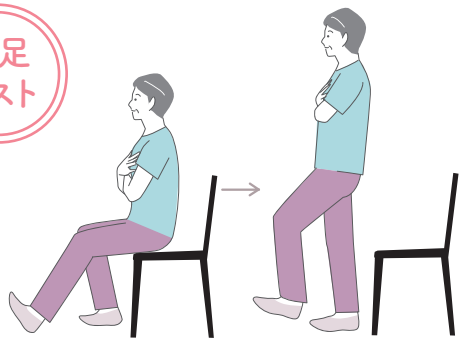
❶40cmの台に両腕を組んで腰かけます。
❷両足は肩幅くらいに広げ、床に対して脛（すね）がおよそ70度（40cmの台の場合）になるようにして、反動をつけずに立ち上がり、そのまま3秒保持します。

できなかった人は

「移動機能の低下が進行している状態」です

できた人

片足テスト



❶40cmの台に両腕を組んで腰かけます。
❷両足は肩幅くらいに広げ、床に対して脛（すね）がおよそ70度（40cmの台の場合）になるようにします。そして左右どちらかの足を上げます。このとき上げた方の足の膝は軽く曲げます。反動をつけずに立ち上がり、そのまま3秒保持します。

どちらか一方の片足で立ち上がれない人は

「移動機能の低下が始まっている状態」です

※厚生労働省ホームページ「ロコモ度テスト」より

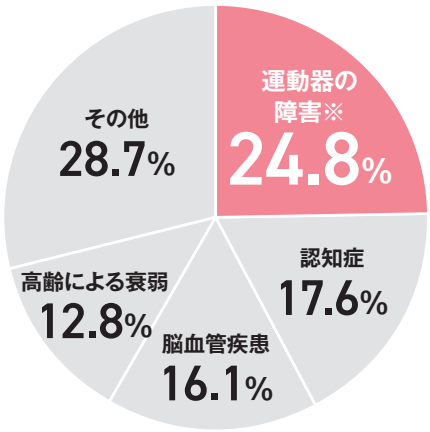
変形性関節症のその先に「ロコモティブシンドローム」

ロコモティブシンドロームとは「locomotive（移動能力）」という英語からつくられた言葉で、移動するための能力が不足したり、衰えたりした状態を指します。ロコモとはその略称です。

人間が歩く、動くといった、日々の活動のために必要な身体の仕組み全体を運動器といいます。運動器は骨・関節・筋肉・神経などで成り立っていますが、これらの障害によって身体能力が低下してしまった状態が、ロコモです。ロコモが進行すると、将来介護が必要になるリスクが高くなります。

要支援、要介護になる原因のトップは転倒、骨折や関節の病気など運動器の障害です。そのため、運動器の障害を起こさせないことが重要です。

［ 要支援・要介護になった原因 ］



※運動器の障害：骨折転倒・関節疾患・脊髄損傷の合計
厚生労働省2019年国民生活基礎調査の概況より改変

整形外科スタッフ

連携のとれた
医療チームが真摯に
対応いたします！

佐藤（さとう） 太志（たいし）
部長 平成16年卒

矢部（やべ） 恵士（けいし）
医員 平成30年卒

橋詰（はしづめ） 惇（しゅん）
医員 令和2年卒

神崎（こうざき） 真一（しんいち）
医員 令和3年卒

「歩く」「動く」のサポーター

リハビリテーション技術科

当院のリハビリテーション技術科は、現在、理学療法士6人、作業療法士5人、言語聴覚士1人が在籍しています。

理学療法では主に基本動作（寝返る、起き上がる、立つ、歩くなど）の能力回復や改善を目指し訓練内容を考案し、実施しています。

作業療法では、患者さんの日常に関わる全ての諸動作（着替え、食事、トイレなどの日常生活行為、余暇活動、就労活動など）を行う能力の維持や改善を分析評価し訓練を実施しています。

言語聴覚療法では、言語障害、嚥下障害（飲み込みの障害）などに対して、言語訓練、嚥下訓練を実施しています。

各療法それぞれの専門的視点で患者さんに接し、一人ひとりに応じたオーダーメイド的なリハビリテーションを実施しています。

チームで目指す日常への復帰

田川地域は高齢化率が高く、転倒による骨折や加齢に伴う関節の変形などの運動器疾患が多く見られます。そのため、整形外科からリハビリテーション技術科へ紹介される患者さんは、このような運動器疾患を患われている人が大半を占めています。

リハビリテーション技術科では人工関節置換術（関節の変形などにより損なわれた運動機能を回復する治療）を行う患者さんに対し、手術前から動作の確認や生活状況の評価をします。そして、手術後翌日には離床を促し、座位、起立、歩行などの基本動作訓練を実施し、日常生活に関わる諸動作（トイレ動作、着替えなど）の回復につなげることで、日常生活への早期の復帰を目指しています。

患者さんに提供するリハビリには、リハビリスタッフだけでなく、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種が関わっています。チームで情報交換や月例カンファレンスを行い患者さんの状況を共有するほか、回診の際には患者さんも交え、今後の目標を設定し、課題点があれば迅速な対応を行っています。

リハビリテーション技術科ではこのように、多職種連携のチーム医療で患者さんの回復をきめ細かくサポートしています。

泌尿器科

前立腺肥大症

前立腺肥大症は、加齢に伴い前立腺が大きくなり尿道を圧迫することで、頻尿や排尿困難を引き起こす男性特有の病気です。

なぜ? なぜ前立腺が大きくなるのか

前立腺が大きくなる原因は明確に判明していないものの、明らかな危険因子として加齢があげられ、年齢とともに前立腺が大きくなることがわかっています。また、男性ホルモンなどの性ホルモン環境の変化、遺伝的要因、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常なども前立腺肥大症の発症に関与すると考えられています。

症状 どのような症状がでるのか

前立腺肥大症の症状は主に以下の3つです。

排尿障害……尿が出にくい、排尿に時間がかかる、尿の途中でとぎれてしまう。

蓄尿障害……トイレへ行く回数が増える、トイレへ行きたいと強く感じ我慢できない、夜間に何回もトイレへ行くなど。

排尿後症状…排尿後に尿が残っている感じがするなど。

治療 治療方法

治療方法は、症状の程度や進行度によりますが、大きく分けて薬物治療と外科的治療があります。

まずは、前立腺を通る尿道の筋肉を弛緩させ尿を出やすくする薬や前立腺を縮小させるような薬を使用し症状が改善するかを見ます。

薬物治療で改善が見られない場合や、症状が重い場合は外科的治療が検討されます。外科的治療では、一般的に経尿道的手術が行われます。

当院では、令和6年1月より術中出血の少ないツリウムレーザを導入し、経尿道的前立腺ツリウムレーザ手術を現在まで26症例行っています。

前立腺肥大症を疑う症状があればご相談ください。

レーザー前立腺蒸散術 ThuVAP

1 内視鏡よりファイバーを挿入　2 レーザーを照射し、蒸散を開始　3 組織がなくなり、尿道が広がる

画像提供:エダップテクノメド株式会社

スタッフ

もり　なおき
森 直樹
部長
平成8年卒

まつおか　わたる
松岡 和福
医長
平成29年卒

外来担当医表	
月	松岡 和福
火	森 直樹・松岡 和福
水	森 直樹・松岡 和福
木	森 直樹・松岡 和福
金	森 直樹・非常勤医師(福岡大学)

TOPICS

田川市立病院 みんなの健康講座

参加無料
申込不要

当院では、田川地域のみなさんを対象に、生活習慣予防を中心に、アンケートをもとにみなさんの関心の高い内容を毎月お話しています。
講座後には簡単な体操も行っています。ぜひご参加ください。

時間 11時～12時　**場所** 田川市立病院 2階講堂

令和7年度11月～3月スケジュール

第8回	11月 5日(水)	腎臓を守ろう～慢性腎臓病と生活習慣～ 腎臓内科　医員　原 裕一郎
第9回	12月11日(木)	マイナンバーカード利用による保険確認について 医療情報システム管理室　植木 浩二郎
第10回	1月 9日(金)	カルシウムだけじゃない！～骨の健康にかかせない生活習慣～ 栄養管理科　管理栄養士　丸山 麻美
第11回	2月 9日(月)	「薬が効く」ということ 薬剤科　薬剤師　西田 憲吾
第12回	3月10日(火)	運動の大切さ～健康な身体を維持するために～ リハビリテーション技術科　理学療法士　中島 史博

ふれあい看護体験を実施しました

当院では、7月10日(木)に公益社団法人福岡県看護協会が主催する事業の一つである「ふれあい看護体験」として、地域の高校生を受け入れました。

「ふれあい看護体験」とは、看護に興味のある地域の高校生を受け入れ、施設内部や各部門の業務見学、新生児沐浴見学、簡単な看護体験を提供するイベントです。

当院を訪れた高校生は、手術用ガウン・手袋の着脱や新生児との触れ合い、車いす体験などを通し、看護職への理解を深めました。

トピックス

田川地区
腹膜透析研修会を実施しました

当院では、医療・介護の現場にいる方々の知識や技術の向上を図るため、「第16回田川地区腹膜透析研修会」を6月20日（金）に実施しました。研修会では、腎臓内科医師や透析センターの看護師による講演や、腹膜透析のバッグ交換、接続機器やAPD（自動腹膜透析）機器の操作などの実技を行い、病院看護師、訪問看護師、介護施設スタッフ、ケアマネージャーなど計53人が参加しました。

高齢者施設対応感染症予防研修会を実施しました

当院では、地域の高齢者施設のスタッフを対象とした「高齢者施設対応感染症予防研修会」を7月11日（金）に実施しました。この研修会は、田川保健福祉事務所とともに、高齢者施設の職員が標準感染予防策と感染症発生時の備えを理解し、実施できることを目的に毎年実施しています。

当院の感染防止対策室の植田看護師を講師として、モデル施設の図面を使い、ウイルスが存在する区域、ウイルスが存在する可能性がある区域（防護具を脱ぐ場所）、ウイルスが存在しない区域に分ける「ゾーニング」を考えるグループワークや、個人防護具の着脱の実演を行いました。

院内ICLSコースを実施しました

当院では、7月19日（土）・20日（日）に「院内ICLSコース」を実施しました。ICLSコースとは、突然の心停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得することを目標とした、医療従事者のための心肺蘇生のトレーニングコースです。研修には計11人の職員が参加し、突然の心停止をきたした患者さんへの迅速な蘇生処置や蘇生チームとしての役割の理解、院内急変対応規約を順守した対応を学びました。

田川市立病院 外来診療担当医

新患 新しく受診される患者さん
再来 当院を受診され、予約をしている患者さん

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	新患・再来	荒木 優 溝上 功明 (九州大学)	佐藤 優将	小林 貴大 (産業医科大学)	中村 勇輝 (産業医科大学)	井上 航之祐 佐藤 優将 (再診予約のみ)
消化器内科	新患	武田 和大	髙山 弘毅 (福岡大学筑紫病院)	楊 晃慶	前田 和紀	土井 鴻弥 (福岡大学筑紫病院)
	再来	—	楊 晃慶 (再来予約のみ)	前田 和紀	武田 和大	
腎臓内科	新患	松本 英展	原 裕一郎	吉田 健	末永 達也(九州大学)	久永 哲也(九州大学)
	再来	—	松本 英展	—	原 裕一郎	吉田 健
	腹膜透析外来、腎不全SDM外来(療法選択)	吉田 健	—	原 裕一郎	松本 英展	—
糖尿病内分泌内科	新患・再来 (要予約)	[糖尿病] 新城 明仁 (九州大学)	[糖尿病](第1・2・3・5) 佐藤 直市 (九州大学)	[糖尿病](第1・3・5 新患・再来) [内分泌](第1・3・5 再来予約のみ) ※新患はお受けできません 梶谷 祐介(九州大学)	[糖尿病] 相良 理香子 (九州大学)	[糖尿病] 横溝 久(九州大学) [糖尿病](第4 再来予約のみ) 佐藤 直市(九州大学)
呼吸器内科	新患・再来	—	河野 拓(九州大学)	—	—	伊佐 康平(九州大学)
肝臓内科	新患・再来	青柳 知美(九州大学)	徳松 誠(九州大学)	—	—	—
神経内科	新患(要予約)・再来	—	—	吉良 雄一(九州大学)	—	—
緩和ケア内科	新患(要予約)・再来	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	—	—	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	—
総合診療科	新患・再来	藏内 稔裕	武富 文哉	奥津 翔太 (福岡大学病院)	瀬知 裕介 (福岡大学病院)	野下 育真
小児科	新患・再来	石倉 稔也	石倉 稔也	藤吉 順子	小窪 啓之	藤吉 順子
	再来	—	神経外来(第2・4午後) 松田 あかね (九州大学)	血液・免疫外来(第1午後) 石村 匡崇(九州大学) 腎臓外来(第4午後) 今井 崇史(九州大学)	—	循環器外来(第2午後) 松岡 良平 (九州大学)
外科	新患・再来	高橋 郁雄 塗木 海斗	丸山 晴司	丸山 晴司 高橋 郁雄 乳腺外来 鴻江 俊治	松隈 哲人(非常勤) 脳神経外科外来 庄野 禎久 血管外科外来(第2) 非常勤医師(九州大学)	高橋 郁雄
呼吸器外科	新患・再来	—	—	—	(第1・3) 非常勤医師(九州大学)	—
整形外科	新患・再来	佐藤 太志 橋詰 惇 上原 航(九州大学)	佐藤 太志 神崎 真一 矢部 恵士	矢部 恵士 橋詰 惇 神崎 真一	橋詰 惇 櫛田 薫(九州大学)	佐藤 太志 神崎 真一 矢部 恵士
形成外科	新患・再来	柳澤 明宏	柳澤 明宏	—	柳澤 明宏	柳澤 明宏
皮膚科	新患・再来	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子
泌尿器科	新患・再来	松岡 和福	森 直樹 松岡 和福	森 直樹 松岡 和福	森 直樹 松岡 和福	森 直樹 非常勤医師(福岡大学)
産婦人科	産科(妊婦健診)	—	藤田 拓司	野田 貴美子	椎名 隆次	武田 真太郎
	婦人科 新患	—	野田 貴美子／ 武田 真太郎	椎名 隆次	武田 真太郎	野田 貴美子
	婦人科 再来	—	藤田 拓司 椎名 隆次	武田 真太郎 新藤 滉大(九州大学)	野田 貴美子	—
眼科	新患・再来	永戸 天	永戸 天 塩瀬 聡美(九州大学)	永戸 天 中村 陸(九州大学)	永戸 天	永戸 天
耳鼻咽喉科	新患・再来	—	非常勤医師(産業医科大学)	—	非常勤医師(産業医科大学)	—
歯科・歯科口腔外科	新患・再来	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千
精神科	新患(要予約)・再来	—	物忘れ外来・脳疲労外来(第1・3) 【午後診療】(14時～17時) 新福 尚隆(非常勤)	—	—	—

(令和7年10月1日現在)

田川市立病院 0947-44-2100

外来受付時間 午前8時30分 ～ 午前11時

※診療科によって、急に休診となる場合がありますので、ホームページの「休診のお知らせ」(新着掲載)をご覧ください。もしくは、電話でお問合せください。

発行 〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 ☎0947-44-2100 FAX 0947-45-0715
田川市立病院 経営企画課

ホームページ　Facebook　インスタグラム